

開建高校の学びは、“Learning by Doing”

見て、聞いて、感じて発見・実感を得る学び

好きなこと、得意なことをとことん伸ばし、自分らしさを追求しよう！

「やってみたいをやってみる」ことで、自分の可能性や良さを知り、
それらを活かしてより良い未来を協創しよう！

「学びを楽しむ」しかけ

～学んでいること、考えていることが楽しい～

○学びの3原則

問い合わせ始まる学び
対話・協働の学び
個に応じた学び

○教育活動の3本の柱

自分自身について知る
個性を活かして協働し、挑戦する
自由な発想で、未来を創る

「自己の成長を実感する」しかけ

～わかった！できた！が開建で増えた！～
開建は「できない」ことに挑戦し、「できる」ようになることで、自分の人生を豊かにし、社会そのものが豊かになるため存在しています。自分が「できない」ことを理解し、それを目標に設定した主体的な学びを実践します。

開建高校が求める人物

多様な人たちと関わり学びを深めたい
知識やスキルを身につけ、他者と協創したい
より良い未来を創っていきたい

学び続ける力

挑戦力

対話力

貢献志

協働力

思いやる心

開建高校が目指す人物

自らの成長とともに他者と協働しながら、より良い未来社会の創造に主体的に取り組むことができる人物（協創者）を目指します。

「学びの空間と人」のしかけ

～教室はL-pod、クラスメイトは80人!?～
普通教室の4倍の大きさがあるL-podを
学びの空間にして、80人の生徒と複数の
教員が様々な形態での学びを通して成長
します。

開建高校の教職員は、自らを変え、
未来の社会を形成していく協創者を目指す生徒たちのガイドとして、ともに
学び、ともに考え、ともに歩みます。

「地域・社会で学ぶ」しかけ

～京都全体が開建生の学びのフィールド～
教室から飛び出し、複雑かつ多様でリアルな
地域社会で、自らの行動に責任を持ち、より
良い未来を目指して、自分たちのプロジェクト
を進めることで、確かな自信をもって行動
に移す姿勢を身につけます。

